

# 加 佐

学校だより 11月号

令和元年10月31日

舞鶴市立加佐中学校

TEL 83-0004 FAX 83-3201

<http://kasa.maizuru.ed.jp/>



## 助けあい 支えあい

始めに、台風19号等の甚大な被害により、尊い命を失われた方々のご冥福をお祈り申し上げます。併せて、被災された方々や、今も尚、復旧に努めていらっしゃるたくさんの皆様方に心よりお見舞い申し上げます。

台風の影響で最終試合が中止になってしまったラグビーワールドカップカナダ代表チームの選手たちが釜石に留まり、台風による土砂の除去等に献身的に励んだニュースは、つらい出来事の中にも心温まるエピソードとして繰り返し伝えられました。目の前の惨状に困惑していたところに、逞しい選手らの応援を得た市民の気持ちはどれほどだったでしょう。背景にはその日までの1か月余り、選手を温かく迎え入れサポートしてきた市民との絆・感謝がありました。

このことは、多くの人が励まされる話題として「カナダチームは試合中止により戦わずに順位が決定してしまったにもかかわらず、『できるだけ恩返しがしたい。』と日本への愛を今回のボランティアの理由に挙げた。」と海外でも報道されたそうです。

自発的な社会貢献や、人々の協働は尊い活動です。同時に、活動に向かう当事者の内面からあふれる精神や動機等に、私たちは共感し更に心を揺さぶられます。直接的な社会貢献とはいえなかったとしても、同じラグビーW杯における日本代表チームの歴史的な快挙などもまた、我々を勇気づける明るい材料のひとつではなかったでしょうか。

## 芸術の秋 → 学問の秋



全校合唱



校区小学校5、6年生の合唱

過日開催いたしました「令和元年度文化祭」並びに「まいづるオープンスクールウィーク」には、大変お忙しい中たくさんの保護者・地域の皆様方においでいただきまして、誠にありがとうございました。

加佐校区の児童生徒の舞台発表から、一人一人の成長の様子を直にご覧いただきました。

文化祭に向けた「合唱づくり」では、各学級で歌詞のメッセージを読みこみ、旋律を捉え、ハーモニーを磨き、曲全体の構成を研究して自分たちならではの演奏を創り上げます。発表当日が迫るにつれてますます熱心にコミュニケーションを重ねました。完成を目指す各学年の追い上げには目を見張るものがありました。

合唱を形にする作業は、楽曲理解・演奏技術、さらには意欲や団結力、企画・運営力等、集団としての底力が問われる、困難な道のりです。生徒たちはそれぞれに複数の役割を担いながらも、互いに助け合い日々新たな課題を解決し、満を持して晴れの舞台を迎えました。

満足感や達成感の共有が互いの信頼関係を一層高め、自信につながるとともに「**学び合い 認め合い 鍛えあう**」という教育目標の具現化に向けた大きな弾みとなりました。

さて11月は、夏からの2大行事で培った勢いをもとに、各教科の締めくくりと来るべき入学者選抜等に向けて腰を据えて勉学に励みます。「入試は団体戦」といいますがコラボ学習を効果的に生かした「**授業は団体戦!**」を掛け声に全校で頑張ります。

保護者・地域の皆様方の変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

舞鶴市立加佐中学校 校長 福本 浩介 教職員一同